

遠隔教育システムの活用

第 6 学年

単元名:「やなせたかし アンパンマンの勇気」(4/6)

多様な考えに触れることができる学校間遠隔システムを活用した授業の様子

活用の仕方

展開

試行錯誤「自分はこう考えるけれど、仲間の意見も聞いてみよう！」

深める交流

- ①「素晴らしい」「学べた」を伝える
・○○のところが△△でよく伝わってきたよ。
・○○が大切ということがよく分かったよ。など
- ②「もっとよくなりそう」を伝える
・○○を△△すると、さらに伝わると思うよ。など

聞く視点

重なる経験を伝えること

聞き手



聞き手

【交流活動】

- 仲間の考えのよいところや改善点を伝える。
- 「聞く視点」を意識して、仲間の考えを聞く。

〈注意点〉
学校間遠隔授業を実施する際は、双方の教室に必ず教科担任を置きましょう。

へき地教育の観点から



◎双方に教師がいるからこそ、子どもの進捗が把握できる

教師の指導のポイント

- 導入時に「伝えること」と「聞き分けること」「深い学びにつながる対話の仕方」を双方の児童と共有をする。
- 聞き取りづらくならないように、話し手はゆっくりと大きな声で、タブレットに向けて話すよう指示する。
- 聞き手は、話し手の意図に沿って聞き、それに即した質問、感想、代案等を伝えるように指示する。